



ぼくのキャンバス。



小さな頃に思い描いた夢は

たくさんの色で
たくさんの想いで
たくさんの純粋で

造られていた。

今の僕のキャンバスに残ったのは

たったひとつの"結果"と
夢見ること失くした僕の姿だけ..。

勇気の言葉。



ほんの小さな溝。

だから
ほんのちょっとの勇気をちょうだい。

『頑張れ。』

勇気をくれる魔法の言葉だよ。



誰かの線路じゃなく

僕だけの線路を創りたいんだ



君の流す涙を キレイだと思った。

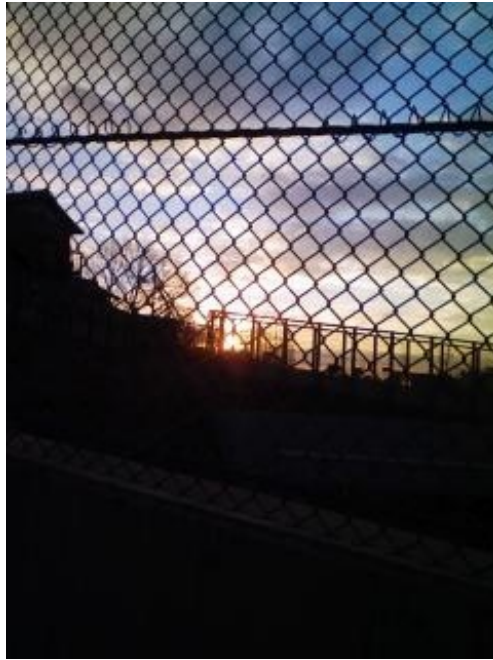
初めてだよ。

誰かの涙が 美しいと想えたのは・・・。



ただ 欲しかっただけ。

安心を得られる "君の隣(その場所)"が..



大切なものには形がなくて
守れているのか 不安になる。

つながりには形がなくて
僕と君の間の空気感に 不安になる。

見えないから 不安で。
見えないから 怖くて。

でもだからこそ 守りたい。
いつだって 何かを感じていたいんだ。

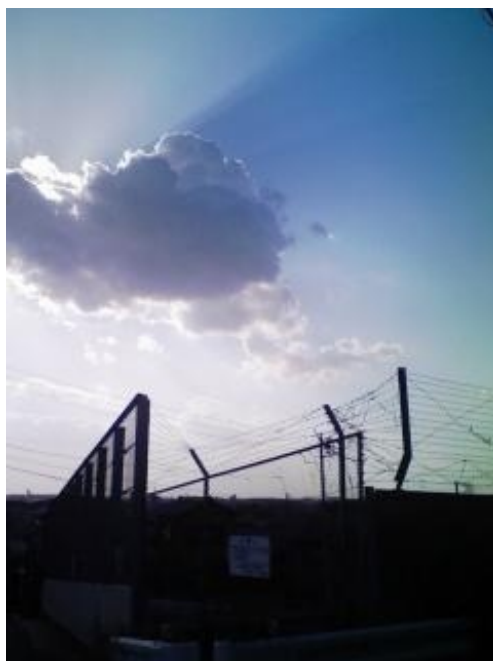


独りたたずむ街並みは
まるで不良品のパズルみたいに
どこか模造品(つくりもの)めいたセカイ

風と光のカタチも
なんだかゆがんで曖昧なんだ

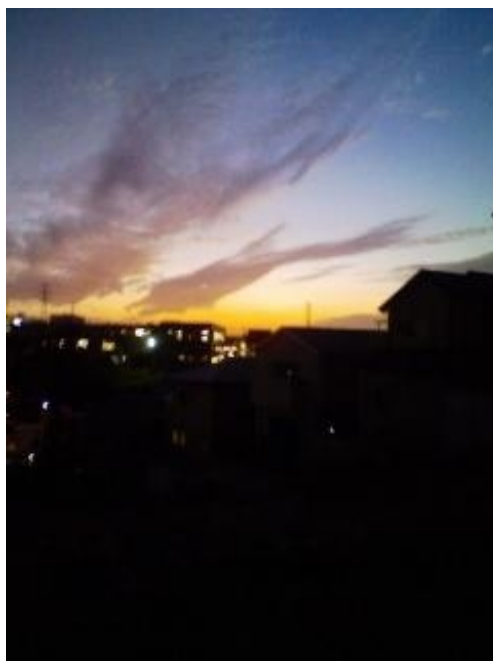
置き去りの気持ちの彷徨も
今はもう分からないよ
目印の記憶も 手のひらすり抜けて…
地図は見付からない。

約束の場所へ…
いつしか君に再会(であえ)ると信じて
僕は 今日も旅立つ
たとえ それが終わらない旅路だったとしても…



この道の先
辿り着く結末を 今はまだ知らない。

願わくば
幸福な結末と繋がっています様に...



進んでは戻り
進んでは また もどる。

そうして歩んだ 1歩1歩(あしあと)。

軌跡の分だけ、僕は強くなれているんだろうか..?



迷い続けた道の先
僕の目指した未来がある。

信じたい。
それが 幸福につながる道だと...



変わらないモノを信じたくて
君との繋がりを必死に守った。

ねえ...

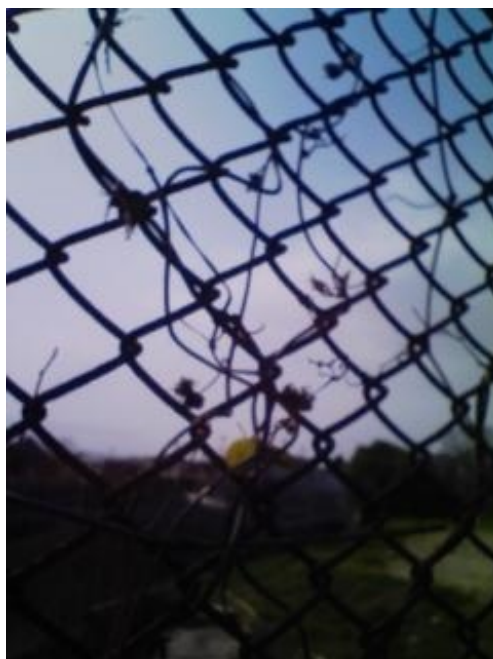
2人の関係は
永遠だと信じていいのかな？



理解して(わかって)もらえないことが
とにかく 悔しかった...

いっぱい いっぱい
足掻いてみても
結局は1人の気持ちなんだと思った。

この気持ち 枯れてゆくのか？
それとも.....



高い 高い プライドがあって
素直な感情の邪魔をする。

本当は、すごくシンプルな気持ち...

本当は、すごく真っ直ぐな願い...



はじまりの日(あの日)の
気持ち

今は 僕の心に在るのかな..?



一緒にすごすこと...
お互いが 息苦しさばかり感じてしまって...
それでも離れられなくて

気付けなかった。

2人の辿り着こうとしていた"結末"に。



大切なモノほど見えなくて
"繋がり"の存在に不安になる。

信じ続けるチカラ
守り続けるチカラ

いつでも 心に 光を灯して...



ずっとずっと走る様に
ひたすらと進んできた道で
ある日、はたと立ち止まった。

僕の足元に残ったキセキ(あしあと)は
どれだけの価値をもってるんだろう。

たちどまったぶんのぬくもり。



寒さがあるから
君のぬくもりが分かるんだね。

ほら

手の先から 君のぬくもりが
染み渡ってく。。

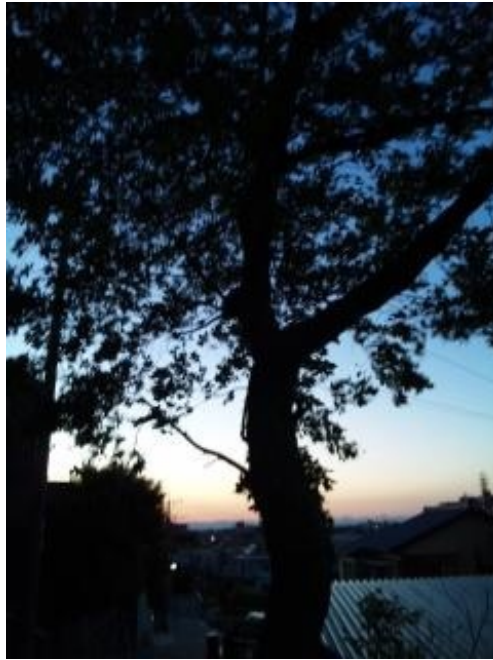


ただ 言葉に縛られていたのかもしれない。

たったひ1つの純粋な誓いを曲げたくなくて、
嘘にたくなくて。

そんな頑固だった僕だから
手の中の“大切”がこぼれてしまった。

今なら...本当の“誓い”を守ってゆけるのに。。



優しい世界に包まれて

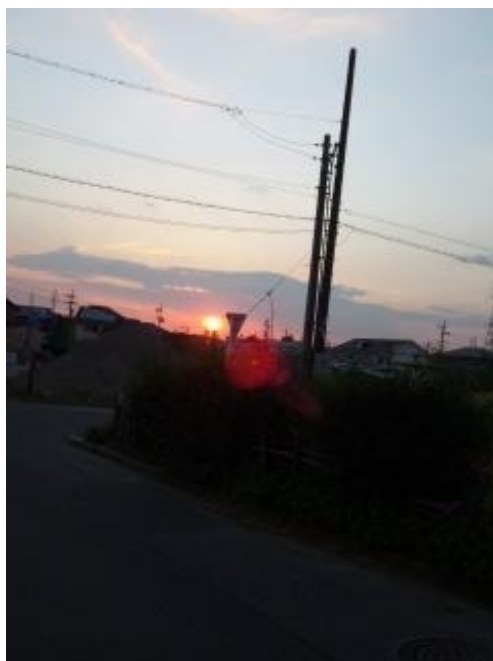
今日も
僕は 眠りにつくよ...



いっぱい いっぱい
涙流して

いっぱい いっぱい
笑いたい。

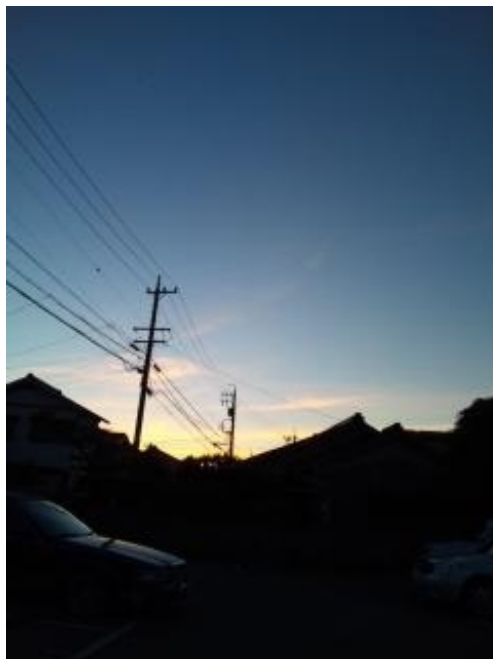
“後悔”じゃなくて
“糧”にしたいから...



君の優しさが胸に染みて
君の存在がいやしになった。

ずっと ずっと
手離せなくなった.. .。

容器(カタチ)の中。



もがき苦しんだ分の未来
手に入れたモノは
大きいのか...
小さいのか...

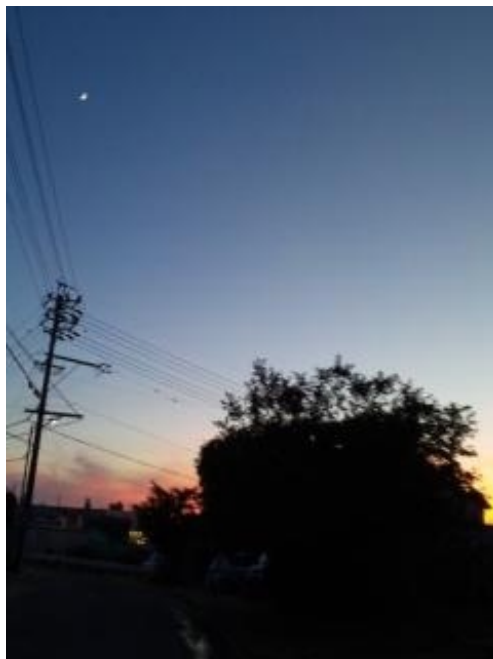
僕の手におさまった容器(カタチ)。
どうか この手から
すり抜けてしまわない様に...



自分よりも誰かを想って...
自分より誰かの為に...

そんな真っ白で純粋な感情が
いつまでも 心に灯ってるんだ...。

立ち止まるということ。



立ち止まったっていいじゃない。

今は たくさんたくさん休んで
また走り出せばいいだけのこと。

走り出すための充電期間だもの。



高いビルに囲まれた 狭い空の下
今日も 行き交う大人たちは何かに追われてんだ

雑踏を次から次に通り過ぎてく人達は
まるで 色の無い世界見てるみたいに
昨日見た顔も 他人事(しらんかお)だよ

僕らの箱庭(セカイ)は なんてつまないんだ!?

小さい頃 大切にもってた12色の絵の具は
今も 僕の心色づけてるのかな？
真っ白なキャンバスに広がるのは
これから僕等が描いてくはずの未来
少しずつ僕だけの色重ねて…

空白の僕らは全てに無頓着で
世界は全てが どこか造りもの(フィクション)めいてんだ
知らない脇役ばかりのつまらない日常(えんしゅつ)
だけど そんな人達(キャラクター)もホントは主人公(えいゆう)で
自分なりのキャスティングでドラマ演出してんのかな？

ほら 世界が少しずつ生まれ変わってくよ…

五線譜の上に 並んだ7つのrhythm(おと)
僕だけの音楽を生んでくよ
重なってく 僕らのmelody いつかは 2人の奏(うた)になる



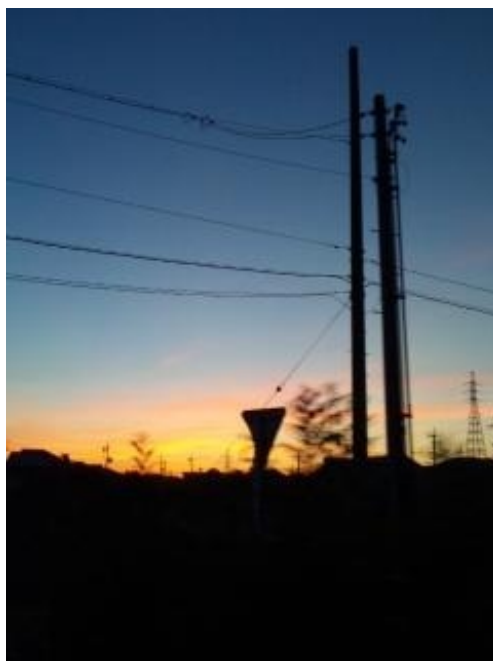
何かを描きたくて
ただ ひたすらに絵筆を握っていた。

何かを残したくて
ただ ひたすらに鉛筆を握っていた。

僕の描く世界は真っ白で
まだまだ 形にはならないけれど・・

いつか 僕の世界が完成する日はくるのかな・・？

何気ない幸せ。



見つけたよ。
今まで 見たことのない君の顔。

見つけたよ。
今まで知らなかった 君の癖。

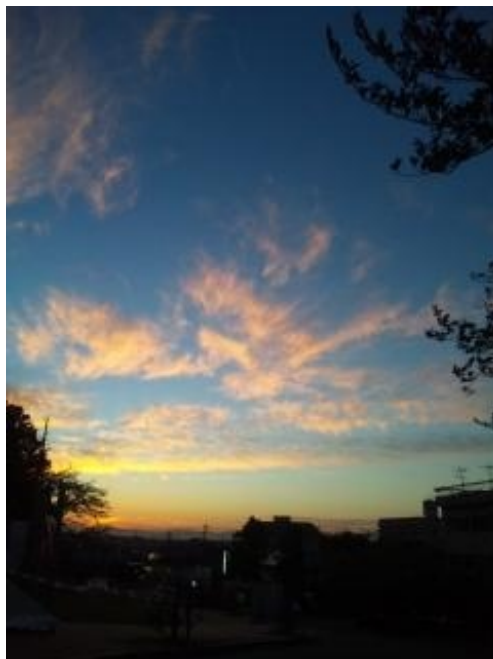
ほら
今日もまた 新しい君を見つけた。



閉じ込めた 僕のココロ。
閉じ込めた 君への気持ち。

言葉になることのない 淡い想い。

そっと 奥底に..



「おかえり。」

君の還る場所。

「ただいま。」

僕を迎える場所。

いつだって きまってる。